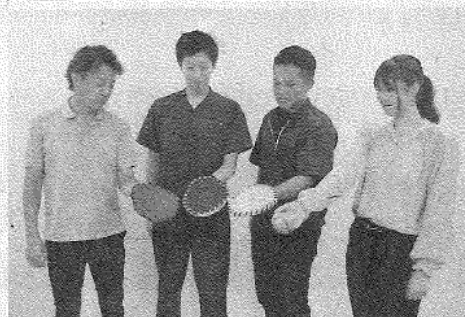


仲田建築×井口スポーツ

## 木製の「板グローブ」開発

野球練習用、廃材を活用

注文住宅などを手掛ける仲田建築（浜松市）とスポーツ用品販売の井口スポーツ（同市）は、野球の練習に使う木製の「板グローブ」を開発した。建築に使われない端材を活用した。10月中旬に同市内にある井口スポーツの店舗で発売する。価格は5000～6000



円を想定する。

一般的な板グローブは革でつくることが多い。通常のグローブより硬いため、手を添えながら捕球する。送球への素早い動きを身につける練習になるという。

開発した製品は「革製より価格を抑えた」（井口スポーツ）。仲田建築が廃棄することが多かった端材などを切り取り、井口スポーツが組み立てる。黒や黄色など5色を用意した。年間500個の販売を目指す。

廃棄される素材を使った環境にやさしい商品として売り込む

両者は一般家庭向けの野球練習用ネットなどの製造・販売でも連携する。建設現場などで使う足場材を活用し「耐久性を高めた」（仲田建築）。庭や駐車場など設置場所に応じて設計する。井口スポーツが注文を受け付ける。

仲田建築はスポーツをする子供をもつファミリー層の顧客開拓につなげる。井口スポーツにも商材の幅を広げられる利点がある。

両者と関わりのあるLPガス販売のエネシン（同市）が引き合わせた。仲田建築が端材の活用方法で井口スポーツに持ちかけ、板グローブの開発が決まったという。